

いしかり
シルバー

第149号 令和4年1月1日発行
公益社団法人石狩市シルバー人材センター
石狩市新港南1丁目22-66
Tel 0133-64-7771
Fax 0133-64-7774
https://webc.sjc.ne.jp/ishikari



新年のご挨拶 超高齢社会にチャレンジするシルバー運営 理事長 齋藤 喬

新年あけましておめでとうございます。会員並びに関係機関・賛助会員・市民の皆様には、ご家族共々ご健運で輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

石狩市シルバー人材センターも法人設立から今年度で30年を迎え今まで様々な事業運営に対し格別なるご理解と特段のご支援ご協力を賜り、成果を収めることができていますことに心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大という未曾有の事態で、社会経済はもとより、国民生活にも大きく影を落としている一方で、国では超高齢社会を見据えた全世代型社会保障制度改革、働き方改革関連法の推進により当センターの会員拡大や就業機会の拡大に支障をきたすことも否めない事実と思うところであります。感染症拡大による影響で雇用環境が様々な分野で変貌している中、ますます進む高齢化社会の昨今、人手、労働力不足が深刻化している業種では、労働力を確保し、社会経済を維持していくために高齢者の多様な就業ニーズと地域ニーズをマッチングし、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を通じて地域社会の活性化を図るため、生涯現役社会の実現に向けシルバー人材センターがその役を担うことが強く求められてきております。

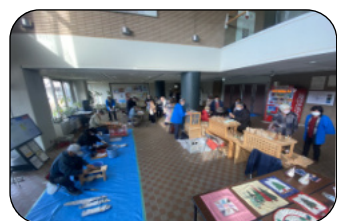
このような中で、シルバー人材センターは地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなどにより高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、「生涯現役社会」の実現を果たす役割を担い、地域社会の活性化と医療費・介護給付費の削減に寄与しているところです。また、センターには、介護周辺業務や子育て支援を中心とした、福祉・家事援助サービス事業、介護予防・日常生活支援総合事業など、人手不足分野での人材確保も求められています。こうした中シルバー人材センターに対する各般からの期待に応えるためには、地域や企業ニーズに適切に対応できる担い手・会員(特に女性会員)の確保が強く求められているところであります。当センターを取り巻く環境は依然として厳しい状況ですが、皆様と課題を共有しながら、その解決に向かって一つ一つ取り組んでいく考えです。

今後ともご支援ご協力をお願い申し上げますとともに皆様方には、益々ご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます新年のご挨拶といたします。



普及啓発活動

令和3年11月25日(木)、26日(金)の2日間、南コミュニティセンターと北コミュニティセンターのロビーで普及啓発活動を実施しました。例年10月は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」として全国的にイベントや社会奉仕活動などが行われるのですが、新型コロナウイルスの影響もあり、多少感染が落ち着いた11月の開催となりました。包丁砥ぎや、リサイクルプラザで作った木工製品・布製品の販売を行い、たくさんの市民の皆様でにぎわいました。市民の方よりマスク越しに「また来年もお願いしますね」と声をかけていただき、今後も継続して普及活動に取り組もうと気持ちを新たにしております。



シルバーのマスコットキャラクター、 チエブクローさんをつくってみる♪後編



メッセージを書いた旗を持てるようになっています

前回に続き、親睦会々長の岸さんが今回もその腕前を魅せてくれました。5か月の時を経てチエブクローが完成しました。段ボールで出来てるなんて信じられない!と思う方は、ぜひ、事務局で仁王立ちしているチエブクローに逢いに来てくださいね!!

技能講習会等

冬囲い講習 令和3年10月5日(火)9時30分から、センター連絡所にて冬囲いの講習(実習)を行いました。会員3名、市民3名の計6名が参加し、



及川会員の講師のもと、技術を学びました。冬囲いは毎年400件近い依頼がありますので、この講習を足がかりとして会員の実際の就労につなげられればと思います。



ヘルパーさん対象の救命講習

令和3年11月4日(木)、石狩市防災まちづくり協会による救急救命講習(入門コース)を実施し、家事サポート(訪問介護)に従事するヘルパーさん8名が参加しました。2つのグループに分かれて実習をして、心肺蘇生法、AEDの取り扱いを学びました。



令和3年度石狩市家事サポート従事者研修

石狩市主催の標記研修が令和3年11月1日(月)、2日(火)の2日間りんくる2階リハビリ室にて行われました。今回は厚田地区の市民受講者もあり、リモートでつないで座学を行いました。11月22日(月)には密を避けてセンターの会議室や各部屋を使い清掃と調理の実習をしました。実習を2時間済ませると資格取得となります。今後、高齢者の地域での暮らしを支えるヘルパーとしてぜひとも力を貸していただければと思います。



第二回親睦会パークゴルフ大会



令和3年10月11日(月)に緑苑台パークゴルフ場にて秋季大会が開催されました。この日、26人のパークゴルフ愛好会員が集まり元気にプレーしました。少し気温が低く天気は曇りでしたが、動いているうちに寒さを忘れ、親睦を深めながらの楽しいひとときでした。今大会の優勝は、杉山会員でした。おめでとうございます。その他、各賞を授与された会員さんの間で歓喜の声もあがっていました。(素敵な賞品があたったのですね!)パークゴルフ未経験のあなたも次回は参加してみませんか?気軽に始めて運動不足解消!あなたの参加を歓迎します。



清掃奉仕活動実施

令和3年11月15日(月)、毎年恒例の市道清掃(落ち葉拾い)のボランティア活動をしました。当日は40名(会員役員35名、職員5名)が集まり、市内三か所に分かれてそれぞれ活動しました。肌寒かったですが、天候に恵まれて皆さん生き生きと活動していました。作業終了後に雨模様となったので、ボランティア活動に支障が出ず良かったです。今後も皆さんのご参加をお願いいたします。



北3条地区

南5-5地区

南3-3地区

ハマボウフウ株分け作業をしました

令和3年10月18日(月)、親睦会の役員が中心となりハマボウフウの株分けをしました。有志が集まって、雑草を抜いたり、植え付けなどのお世話をしました。苗を増やしましたので、来年の収穫時期が楽しみになりました。作業の様子をご紹介します。



理事会開催 事業実績

第3回理事会が令和3年10月28日(木)13時30分からセンター会議室で行われました。理事長の挨拶の後、報告事項として、1)諸般の報告、2)会員の入退会、3)石狩浜海水浴駐車場整理業務事業実績、4)事業実績、5)コロナワクチン集団接種会場駐車場管理業務について報告されました。協議事項は1)令和3年度補正予算、2)センター職員給与規定の一部改正について、すべて原案の通り可決されました。

第4回理事会が同12月14日(火)13時30分から行われました。報告事項として、1)諸般の報告、2)会員の入退会、3)事業実績、4)部会報告、5)上期業務・会計監査報告について、6)石狩市長への要望について報告されました。続く協議事項では、1)令和4年度予算編成方針(案)が可決されました。

1 入会状況について (11月末現在)
 9月 1名(男性 0名 女性 1名)
 10月 3名(男性 1名 女性 2名)
 11月 5名(男性 4名 女性 1名)
 2 会員数 (単位:人)

	前年度末	入会	退会	11月末現在
男性	225	14	17	222
女性	112	9	7	114
合計	337	23	24	336

3 受託事業実績 (単位:千円)

	当年11月末	前年11月末	差異
公共	58,397	52,160	6,237
民間企業	31,056	28,300	2,756
家庭	16,580	17,386	△806
合計	106,033	97,846	8,187

4 就業率(受託・派遣事業) (11月末現在)
73.8%

5 一般労働者派遣事業実績 (11月末現在)
 (1)受注件数 22件 (3)就業延人数 2,047人日
 (2)就業実人員 32名 (4)契約金額 12,802千円

事務局から

●令和4年も皆様が元気に仕事やボランティア活動、そして仲間づくりができるよう職員一同努力してまいります。本年も宜しくお願いいたします!
 ●凍結路面での転倒にご注意を。
 転倒を防ぐポイント・・・「焦らない 急ぐ時ほど落ち着いて」

賛助会員ご紹介

(敬称略)

株式会社石狩環境メンテナンスセンター	石狩商工会議所	道央興産(有)
一般社団法人石狩観光協会	石狩総合管理協同組合	ニチドク事務機(株)
石狩管工事業協同組合	石狩花川北二条郵便局	(株)双葉工業社
石狩産業(株)	(有)一條電気商会	マルウロコ酒井建設工業(株)
石狩市公務サービス(株)	(有)柏野印刷	
社会福祉法人石狩市社会福祉協議会	(株)神田商事	
公益財団法人石狩市体育協会	(株)サポートサプライ	
石狩市道路維持事業協同組合	神童商事(株)	

いつも
ありがとうございます

編集後記

明けましておめでとうございます。会員の皆さん、新年を迎えいかがお過ごしでしたか。令和4年の干支は36年に一度の五黄の寅年です。最強の運勢とされる「五黄の土星」、十二支の中で最も金運が強いとされる「寅年」が重なる年は「五黄の寅」と呼ばれ、とりわけ強い運気を持つそうです。宝くじで一攫千金の正夢でも!
 コロナウイルス感染者が減少傾向となり、多少とも日常生活に戻りつつある中、新たな変異株「オミクロン株」は感染力も強く急拡大する可能性が高いとのこと、今後の会員の就業に影響することを懸念します。